

第12号 (2008年5月号)

あらき通信



あらき通信 2008年5月6日発行

(株) アラキ工務店

編集・発行 村上幸男

京都市右京区梅津高畝町52-2 〒615-0906

株式会社 アラキ工務店

TEL 075-882-8668

FAX 075-872-0223

ホームページ

<http://www.kyoto.zaq.ne.jp/araki/><http://www.kyoto-kozai.com/>

5月の連休前はあれこれと忙しくしていました。

本当は休みの過ごし方を考えたのですが・・・、残念!!



中国製の食品が問題になっていますが、現在の日本の状況を考えれば今すぐすべてを廃止するなどは出来ない話です。農業の作り手を育てて、日本の自給率を上げ、安全なものを自ら作るようになってからのことです。

我々建築の中にも中国を含め外国からの輸入品は数多くあります。昔は国内で生産していないので、輸入していたのですが、今は安いから輸入するのです。その為木材資源で言うならば、国産材は高く売れないから輸入材を使う。だから

山の手入れをしなくなり山が荒れる。ますます手間がかかり高くなり切り出す事さえしない。間伐材など以前は市場に出回っていたものが、もう切ったまま放置してあるのも多いそうです。

いつからこのように、何事につけても安く安くというようになったのでしょうか。

我々は無垢材の使用、漆喰などの自然素材の使用、塗料も植物性や昔から使用されている紅柄や柿渋などを使うようにしています。今は防腐剤の使用はなるべく使わなくていいのなら使いません。また、100%というわけにはいきませんが、多少高くても自然素材で安全で、長年使っていて問題の無い材料を選んでいきたいと願っています。値段では輸入材より高くてもそれだけの価値がある国産品なら使いたいと思っています。また、輸入材も選んで使えば値打ちのあるものがあるので、すべてを排除する気もありません。要は値段だけにとらわれず、また国産商品がすべて良いという思いも持たず、間違いの無いもの、体に害の無いもの、薬に頼らず保存が良いもの、を主眼において進めていきたいと願っています。

荒木 勇



福知山市まで出かけての工事 牧一宮神社です

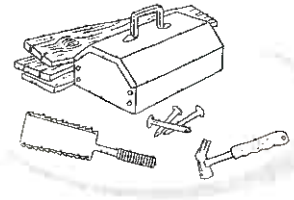
屋根改修工事 無事終了しました。

足達君が毎日通いました。それほど大きくはないのですが、隅木が入り、跳ね木が入り、化粧野地に荒野地、木ズレ格子と手間はかかっています。

詳しくは7～8ページに詳しく載っています。

勇君と小野君

今こんな仕事をしています

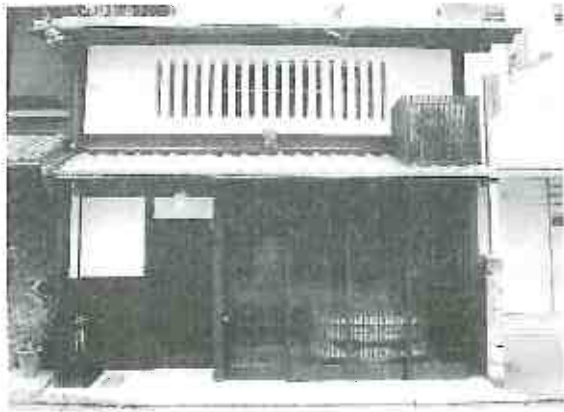


前回の京町家再生工事のその後

工事前(中)と工事後です

前回ここで紹介した京町家ですが、いよいよ完成し、お引渡し済みです。小さい写真が工事前及び工事中で、大きい写真が完成です。

工事中の写真からこのように変わりました。外部は元より内部も手をかけていない所はありません。



外観です。中2階の窓は元の虫籠窓に戻しました。玄関も造り直し、ガレージも内部に設けました。

玄関内部です。やや昔のイメージが残っていますが、このようになりました。右の壁の外はガレージで、そこにスペースを取られていますが、この玄関でもゆっくりと出入りできます。



梁が痛んでいて取り替えた所も、このようになりました。

あかりを灯すと出来る影が美しい階段室になりました。



寒い時期に壁の塗り替えをすることになったので、少し時間がかかりました。その分ゆっくりと乾燥し、良い面もありました。



読売テレビの「遠くへ行きたい」では、原田大二郎さんが工事中訪れて、お施主さんと歓談されているところや、作業風景を放映されました。

少し時間のかかった工事ですが、かけた時間の分だけよりよいものになった、と感じています有難うございました。

お施主さんに一言

今回は **小野敏明君** です



アラキ工務店で仕事を始めて、はや1年以上過ぎました。アラキ工務店の行なっている、京町家の改修工事の面白さに、はまっています。大掛かりな解体の苦勞。

傾いている家のイガミ突き、大きな損傷を受けている材料の取替え。どれをとっても大工さんや専門職さんと相談し、考えて悩んで出した結論で、工事を進めて上手くいったときは大きな喜びです。

お客様の「あれだけひどかった家が、こんなに元に戻って綺麗になるなんて」と言っただけだと更に嬉しいものです。

私事ですが、二人目の子供が生まれました。早く帰ったときは風呂に入れていました。二人とも元気に育っているのでこれも仕事への励みになります。

これからも宜しくお願い致します。



小野君、急速にアラキ工務店に馴染んできています。監督というのはいろいろな知識が必要なのですが、かなり良く知っています。これからも期待しています。

「わたる会」より

NPO法人「古家改修ネットワーク」主催の「住まいの傷みの見分け方」の講演会に於いて、我々わたる会のメンバーが交代で講師を務めています。

各々専門職での話しなので、簡単に出来ると考えていたのですが、『自分ではわかっている話を、人に説明する難しさを痛感しています。』と講師を務めたものは言っています。

次は自分ではないかと皆ドキドキしていますが、我々の話しを聞いていただき、詐欺まがいのモニター販売や強引な押し売り商法に対して確かな知識に基づいて対応できれば、キチンと断る事が出来ると思っています。

いろいろと広報活動（新聞等にも載ります）もしていますのでぜひ聞きに来てください。

次回は7月5日(土) 四條京町家にて

今までの講演者

光本瓦店	光本大助
アラキ工務店	荒木正亘
神田設備	神田拓也
尾崎ガス	藤田幸大
岡利	岡村利昌
中村塗装店	中村啓介

住まいの傷みの見分け方

～リフォーム詐欺事例から学ぶ/第4回「木材・塗装」

日時：2008年3月28日(金)
18:00～19:30

場所：四條京町家
(京都市下京区四條通西河原東入)



わたる会 会員の皆様

会社名 **(株) 笹田金物** 氏名 笹田昌宏

担当業務は **建築金物** です！

一言コメント **良い建物は良い金物からです**

これからは **がしたいです。**

一言コメント

最近聞いた話ですが、宮崎県にある立派なホテルの浴室の
 ガラスカーテンがこわれて通し扉にもメーカーがつかぬと、
 再度作るにしても、強度が充分に保障できず、ガラスカー
 テンを取替え、その裏面を石とめくらで入れなければならぬ。
 そうです。何十部屋も、その様な状態で、大問題だそうです。
 大手ゼネコが作ったホテルです。その様な状態ですから、金物は
 デザインも重要ですが、機能も充分に保ってほしいものです。
 良い金物を

とうとう会員の紹介も
 少なくなりました。
 笹田さんの写真がない！
 期日もせまっているので
 写真は次回に。
 ゴメンナサイ。

2階の倉庫には古い
 古い金物があります。
 又、箱もいかにもの
 古さがあり、いつの
 時代のだというくら
 いのものもあります。



会社名 **(株) 東 建材** 氏名 濱田孝行

担当業務は **解体工事、基礎工事、産廃収集運搬** です！

一言コメント

これからは **借る仕事** がしたいです。

一言コメント

最近、盛ってることは **デジタルカメラ** です。

一言コメント

お客さんに一言！ **仕事はきっちり、仕上げバッチリです。**

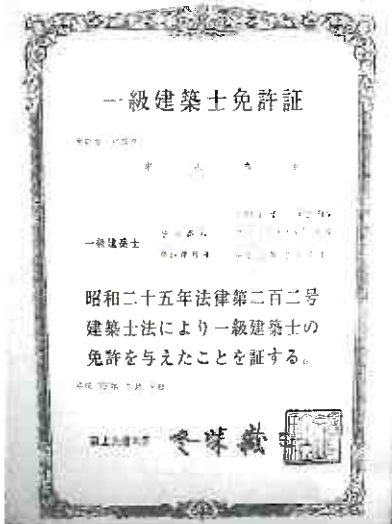
僕の一押し商品は **笑顔 ☺** です。

一言コメント

「ハマちゃん」と呼
 んでいます。何を頼
 んでも「ハイ」と返
 事をし、いやな顔は
 しません。
 東建材の人々は皆そ
 うです。これも東社
 長の指導がいき届い
 ているからでしょう。

わたる会のメンバーの紹介は何回か掲載しましたが、次回で終了です。

また何かの仕事でお伺いすることもありますので、その時は宜しく願いいたします。



サテ、少しページも余ったところで、わたる会の運営にはいつも協力をしてもらっている米沢君が、待望の一級建築士の試験に合格し登録されました。

この一年間の努力の結果が報われました。おめでとうございます。

これが合格証です。

これを手に入れるために、数々の努力をし、時間を使い、授業料も払いました。大変だったのですよ、ヨカッタヨカッタ。

建築士の資格はいろいろありますが、この一級建築士が最終で最後の資格です。これより上はありません。あとはこの資格に恥じないような仕事をしていくだけです。頑張ってください。



もう1人、小野君も手伝ってくれています、

小野君にも嬉しい事が、二人目のお子さんが誕生しました。男の子です。母子共に健康で、無事退院し現在は家に帰っておられます。

彼も来年は1級建築士の受験をします。イヤこの間確かにそう言ったと思います。

来年の正月には嬉しいお知らせが続くことを期待しています。

そのほかにも職人さんたちは、1級技能士や2級技能士の資格の受験を、誰彼なく毎年とりにしています。もうほとんどの者が持っています。それ以外にも2級建築士の資格を取る者も出てきました。皆、勉強しているなど感じます。

あとは見習い君たちが、まず2級技能士の資格を取りにいけるような技能が早く身につく様にと願っています。

職人集団の上に資格集団にもなってきた～～ このごろ、職人さんから建築基準法では、それは間違ってますよと注意される事も・・・。